

ゲイ・バイ調査

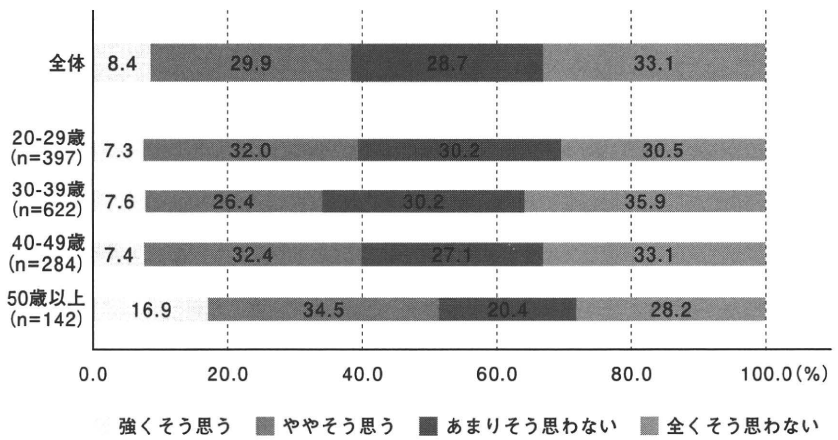
年齢別 相手が生でセックスをすることを望んだら、
コンドームをつけようと言にくい N=1,445

Memo

コンドームの正しい使い方



- ペニスの皮を下まで伸ばしてコンドームを下までかぶせ、次にたるんだ皮を上にはぼしてから根元までしっかりつける
- 使用期限を守る
- 装着するときに爪をたてない
- 二枚重ねにしない
- コンドームをつけた後、ローションと一緒に使うと感度が高まる



相手がコンドームなしの生のセックスをすることを望んだら、コンドームをつけようと言にくいかを聞いたもの。全体では「強くそう思う」が8.4%、「ややそう思う」が29.9%だった。年代ごとに回答者の数は異なっているが、50歳以上の「強くそう思う」「ややそう思う」をあわせた割合は他の年代より高く、51.4%だった。

出典：厚生労働省・エイズ予防のための戦略研究 [2008]
対象：首都圏地域のゲイ・バイ利用者を対象とした質問紙調査

Memo

HIV+でも、セーファーセックス

HIVに感染している人や、すでに感染しているかとも思う人にとっても、セーファーセックスはとても大事。抗HIV薬を飲んでいる人の体の中で、特定の薬がきかないHIV（薬剤耐性という）のタイプに変化することがある。その場合、選べる薬の数やパターンが減ってしまい治療が難しくなることがある。HIVに感染していてもセーファーセックスをしないことで、

薬剤耐性をもつHIVに再び感染する可能性がある。複数のタイプのHIVに感染することで、症状が激化するケースも報告されている。また、知らないうちに誰かに感染させてしまうことも防ぐことができる。

だから感染がわかっている、セーファーセックスは大事だ。

コラム③

セーファーセックスって何だ？

一言でセックスといってもいろいろある。ここでは特に、HIV感染に関わる「フェラチオ」と「アナルセックス」のセーファーな方法について具体的に考えてみたい。

フェラチオ

フェラチオでも絶対に大丈夫ということはない。フェラチオだけしかしてないのに、感染したという報告もある。

Q1 口のなかで射精されても、
飲み込まなければ大丈夫？

A1 飲み込まなくても、HIVに感染する可能性はある。

口の中は粘膜になっている。そのためHIVに感染した人の精液が入ると、飲み込まなくても粘膜を通して感染する可能性がある。また口の中に性病の感染があったり、傷やできものなどがあると感染率が高まる。

Q2 口のなかで射精されても、うがいすれば大丈夫？

**A2 完全な予防にはならないけれど、
できるだけ早くうがいはしたほうがいい。**

精液をできるだけ早く口から出した方がリスクはさがるので、すぐに吐き出したり、うがいすることが大事だ。またうがい薬は、使い過ぎると口の中を荒らしてしまうことがあるという人もいるので、適度な使用が大切。

Q3 口のなかで射精されなければ大丈夫？

先走り液は？

A3 先走り液も感染の可能性がないわけではない。

先走り液は精液よりもリスクは少ないが、ウイルスが含まれる可能性はある。そのため、コンドームを使うか、できるだけなめない方がいい。なめたときには飲みこまないように、そしてできるだけ早いうがいが必要。

アナルセックス

肛門のなかの直腸の粘膜は、とても薄くて挿入のときの摩擦で簡単に傷がつくため、コンドームをしないとリスクが高い行為だ。

Q4 タチ（入れる側）は、コンドームを使わなくても
HIVに感染しない？

**A4 タチもコンドームを使わなければ
感染する可能性がある。**

直腸の粘膜はとても傷つきやすく、出血することが多い。腸から出る粘液にHIVが含まれている可能性がある。また、他の人の精液が相手の直腸に残っている場合、その精液から感染することもある。

Q5 ウケ（入れられる側）をしたとき、
中出しされたらどうしたらいい？

A5 自然に精液が出てくるのを待とう。

中出しされた場合、HIV感染の可能性はある。リスクを下げるために、まず肛門部分をやさしく水で洗い流し、精液が出てくるのを待とう。無理に肛門の中を洗うと腸の粘膜を傷つけたり、粘液をさらに奥にやってしまうことがある。

Q6 中出しされなければ大丈夫？

**A6 中出しでなくても、コンドームを使わない挿入は
感染の可能性はある。**

相手がHIVに感染している場合、先走り液にHIVが含まれるので可能性がある。また射精がなくても精液がもれ出ていることがある。コンドームは途中や射精の直前だけではなく、最初から使うと一番効果的だ。



「依存症」
ドラッグは大変だ！

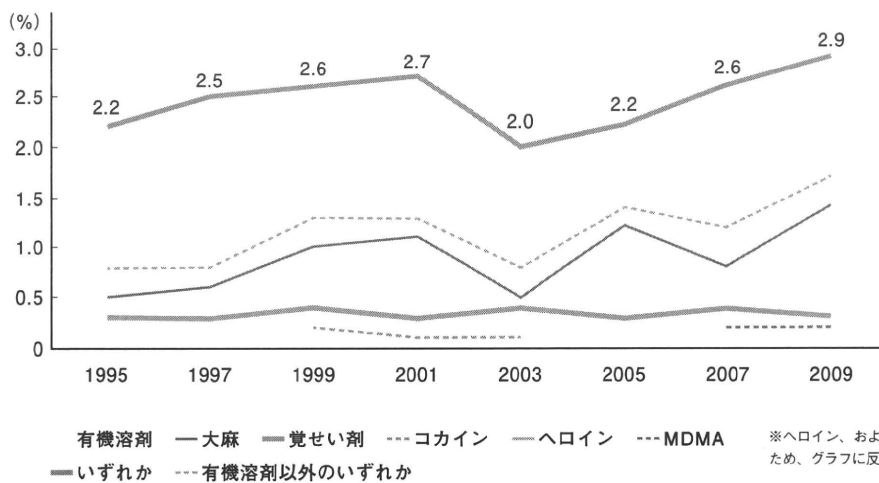
Drugs complicate matters!

A

何かに対して「これは絶対にダメ！」って言うのは難しいこと。
でもドラッグについては、自分に対して「使ってはダメ！」と言う勇気をもとう。

answer

全国15歳以上の住民の違法薬物の生涯使用経験率



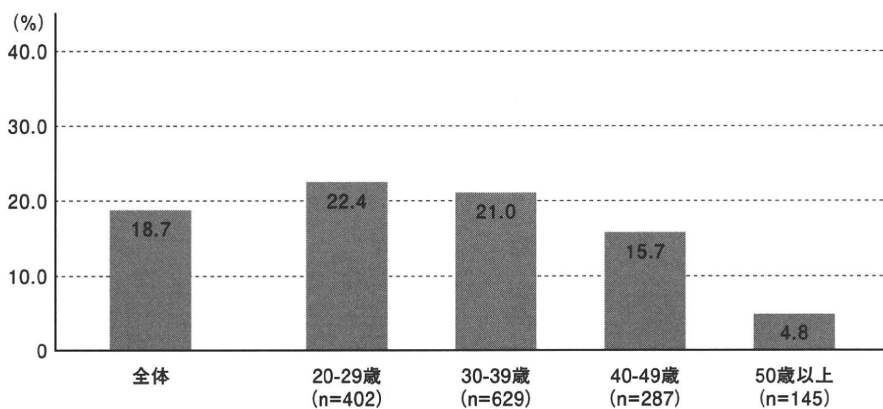
全国の15歳以上の住民サンプルを対象に、これまでに薬物を使用した経験について薬物ごとに聞き、その推移を示したもの。2009年度（有効回答数 3,191件、回収率 64.3%）では有機溶剤が1.9%と最も高く、大麻が1.4%で続いた。いずれかの薬物の使用率は2.9%で増加傾向にあった。覚せい剤は0.3%だった。

出典：厚生労働省・薬物使用に関する全国住民調査 [2009]

※ヘロイン、およびコカインとMDMAの一部は数値が統計誤差内のため、グラフに反映していない箇所があります。

ゲイ・バイ調査

年齢別 過去6ヶ月間 セックス時のラッシュ・5meo・覚せい剤・その他セックスドラッグ使用経験 N=1,463



ゲイバーの利用者を対象とした調査。過去6ヶ月間のセックス時における、薬物使用について示したもの。全体では、18.7%がいずれかの薬物をセックス時に使用していたと回答している。年代ごとにみると、20代、30代の使用率が高い傾向にあった。

出典：厚生労働省・エイズ予防のための戦略研究 [2008]
対象：首都圏地域のゲイバー利用者を対象とした質問紙調査

Memo

薬物依存症とはどんなもの？

セックス時に薬物を使うことで、日常では得られないような快樂をもたらすことがある。最初は使うことをコントロールできると思っている、繰り返し使用することで依存がつくられてしまう。多くの依存性の

薬物は脳や体に作用し、薬が切れると探索したり、ひどい虚脱感や倦怠感、うつ症状に襲われることがある。常用していると同じ薬の量では同じだけの効果が得られなくなるため、薬物使用量が増えていく。

Memo

薬物を使うこととHIV

薬物とHIVの感染はリンクしやすいと言われている。セックスを盛り上げるために薬物を使うと判断力が鈍り、セーフセックスができにくくなる。また常用していると精神的に不安定になり、ますます薬物に依存したり感染リスクの高い行為を続けるようになることもある。

また、一部のハッテン場などで売られているセックスドラッグには麻薬指定のものや、麻薬と類似の有害

性が疑われる「脱法ドラッグ」の場合もあるかもしれない。そもそも成分として何が含まれるのか保証はない。法で禁止されているものは使用や所持をすると逮捕されるケースもあるし、それが外国人の場合、強制的に国外退去措置になるケースもある。

まずは薬物に絶対に手を出さないこと。使ったことがある人は次に使わないようにすること。そして誰かに薬物を勧めないことが大事だ。

Memo

薬物依存症の治療・回復

相談窓口は保健所や精神保健センター、依存症相談をかける精神科の医療機関、自助グループなどのサポートの場もある。依存症を1人で克服することは非常に困難だが、適切な治療を受けることで薬物を使用しない状態に回復することは可能だ。

警察への通報を心配して治療をためらう人もいるが、依存症専門外来のある医療機関では患者のプライバシーが守られている。また、ゲイであることが知れるのを恐れる人もいるが、個人を批判しない、秘密厳守を

モットーとする医療機関もあるので、安心して治療を受けられる。また回復の過程では、同じ薬物依存症の経験をもつ人同士が支え合う、自助グループが支えになる。ゲイであることをオープンに活動している自助グループもある。

ここでは薬物依存を取り上げたが、他にもアルコールやセックスなどへの依存も、HIVと密接な関係がある。依存についての正しい情報を身につけること、そして必要な時は、専門の相談機関に相談してみよう。

コラム④

依存症FAQ

薬物依存症以外にも、依存の問題は様々にある。
ここでは、その他の依存についてお答えします。

Q1 同居している彼氏がいるんですが、酒癖が悪くて毎日飲酒し、ときどき警察のお世話にもなっています。それでもお酒がやめられないようで、「病院に行こう」と言ってもいやがります。本人をつれていかないとダメなのでしょうか？

A1 アルコール依存症が考えられます。普段はまともで仕事をちゃんとできている。しかし、飲めば失敗するとわかっていても「今度こそ大丈夫」と思わずにはられないのです。また、明らかに深刻な状態なのに本人は気づかず、否定するのもアルコール依存症の特徴です。本人でなくても、恋人の立場で専門機関での相談や自助グループの参加ができるので、まずは相談してみてください。

Q2 友人がパチンコにはまっています。「お金貸して」と頼まれて、断ったのですが、「サラ金に手を出させて、俺を破滅させる気か!」と怒りだします。大切な友達だし、関係は壊したくないのですが……。

A2 友人はギャンブル依存症かもしれません。お金を無心されても、決して貸さないでください。お金を貸せば依存を助長することになりますし、「今回だけ」と約束しても、それが守られることはまずありません。厳しい話ですが、多重債務で自己破産になることで、本人だけがその結末を引き受けることができるのです。突き放してどん底を見せることが回復につながるのです。

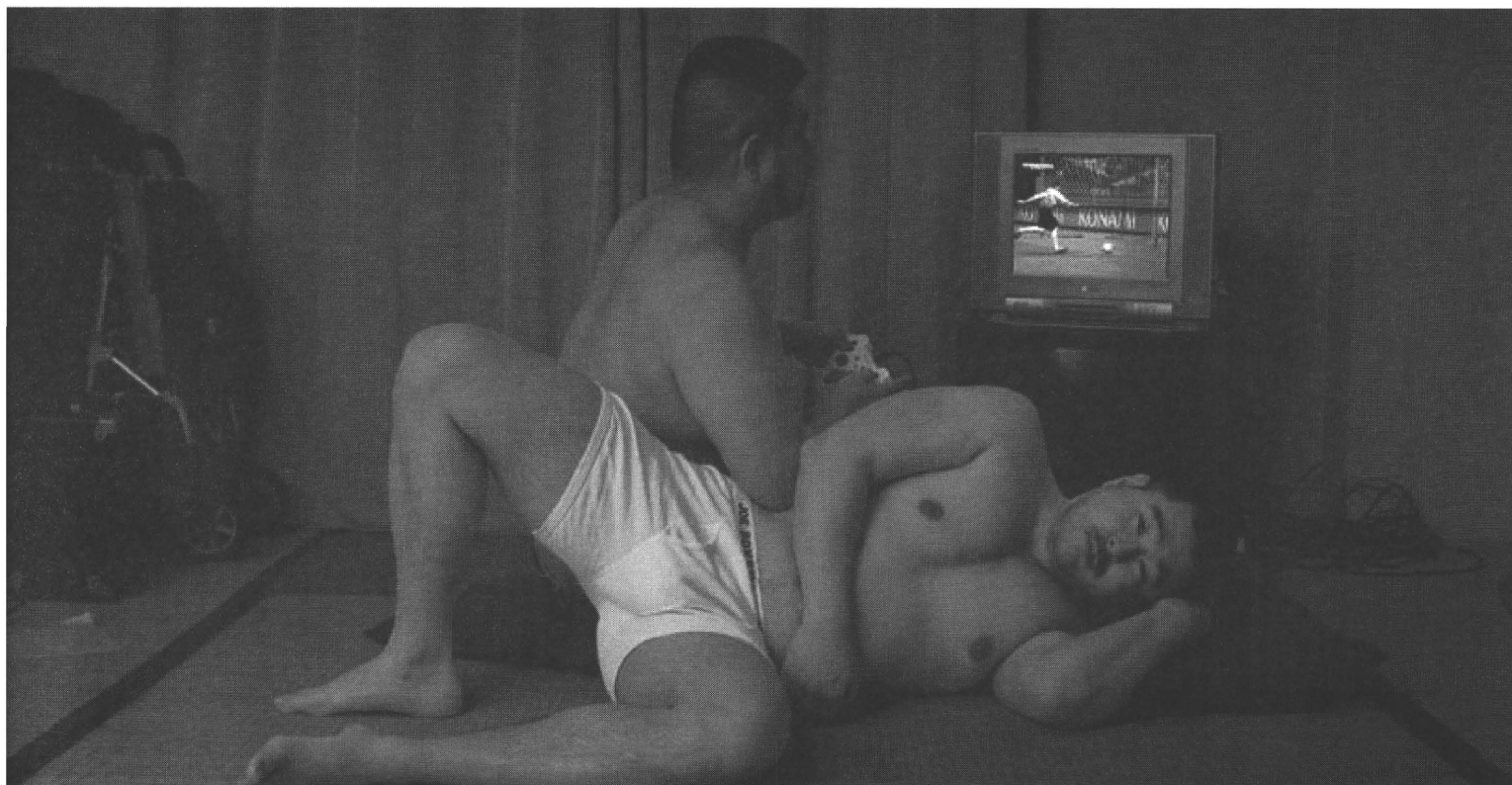
友人の立場での、専門機関での相談や自助グループの参加ができるので、まずは相談されるといいでしょう。

Q3 買ったのに箱から出していない服がたくさんあります。送料の大半がローンで消えています。買った後は後悔するけど、つい買ってしまいます。これって買い物依存症ですか？

A3 買う必要のないものを借金してまで買ったり、買ったままの状態で忘れることが多いのに、それがやめられないというのは、買い物依存症が考えられます。買った物品よりも、「買い物する」という行為自体にはまってしまう依存症なのです。クレジットカードやネットショッピングは便利な反面、お金を使っているという感覚がマヒしがち。借金が膨らんでしまう前に、専門機関に相談してみてくださいはいかがでしょうか。

(※以上の文章は、『This is hope 依存症・メンタルヘルスのものだし、そしてHIVのこと』より一部文章を変えて引用しています)

依存症の問題は、
治療につながるものが回復への第一歩。
不安なことがあれば、まず専門機関に相談を!
41ページで紹介しているパンフレットや
webサイト「HIVマップ」をみてみよう。



「通院・仕事・セックス」

H I V 感染が

わかった後の、

生活ってどうなるの？

What kind of life-style do people with HIV have?

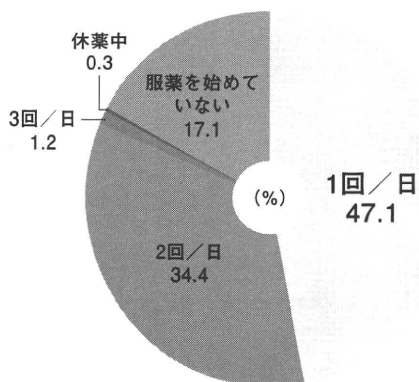
A

answer

この10年でHIVの治療法が大きく進歩し、HIV/エイズで亡くなることは少なくなってきた。治療を続けながら、それまでとあまり変わらない生活を続けている人もいる。HIVに感染していても、その先の人生はつづくのだ。

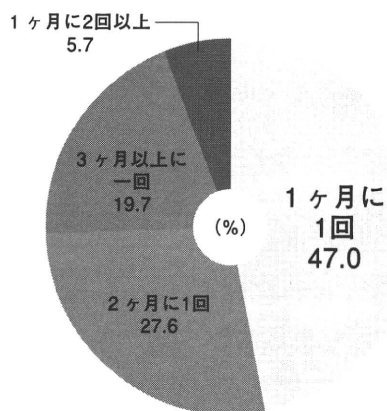
陽性者調査

抗HIV薬の服薬状況 N=1,199



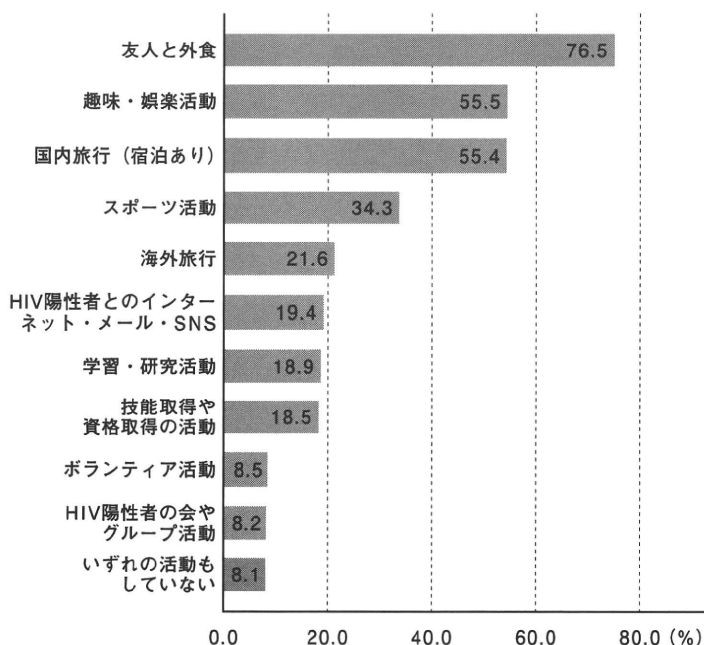
陽性者調査

HIV診療の頻度 N=1,199



陽性者調査

この1年間、次の活動をしましたか ※複数回答 N=1,190



出典：厚生労働省・地域におけるHIV陽性者等支援のための研究班 [2009]

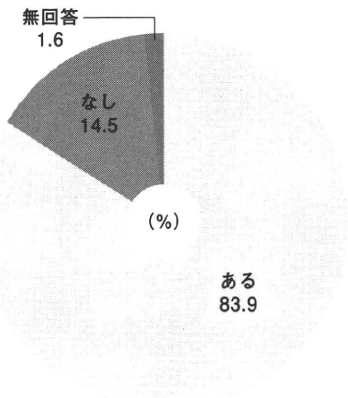
対象：HIV診療を行なうブロック拠点および中核拠点病院（全国33病院）に通うHIV陽性者を対象とした質問紙調査

治療を受けているHIV陽性者の服薬、通院の回数、社会活動について聞いたもの。抗HIV薬を飲んでいる人はこの調査の回答者の82.9%で、薬の開発により服薬の回数が減る傾向にあり、1日に1回という人が47.1%だった。またHIV診療のための通院は月に1回が最も多く47.0%、3ヶ月以上に1回も19.7%だった。社会活動では半数以上が旅行していたり、趣味・娯楽活動などを行っている。その一方で「いずれの活動もしていない」が8.1%だった。

HIVの感染がわかって、今多くの場合、それまでの生活を急に変える必要があるわけではないようだ。

陽性者調査

感染を知って以降のセックスの経験 N=124



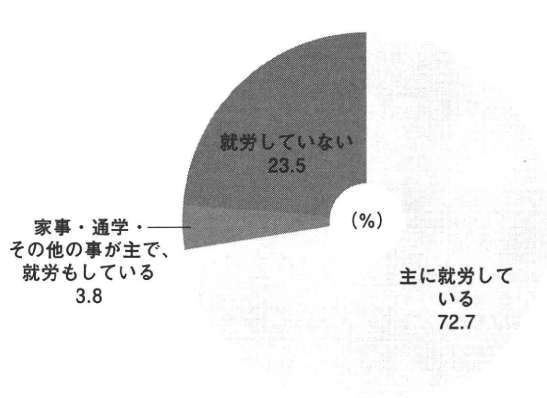
出典：ふれいす東京・日本HIV陽性者ネットワーク ジャンププラス
「長期療養生活のヒント」[2007]
対象：HIV陽性者向けサイトへアクセスしているHIV陽性者を対象とした質問紙調査

HIV感染がわかった後、セックスに抵抗感をもったり、自分を責めるような気持ちになってしまうケースがある。しかしHIV陽性だからといって、そのためにセックスを避けることは基本的に必要ない。調査からは、多くの人たちが感染がわかった後に、セックスを経験していることがわかる。

これまでよりも、自分が他のHIVや性感染症に感染しないように、また相手に感染させてしまうことがないように注意したセーフセックスをしていくが必要になるだろう。そうしたことにセックスの相手と自分がともに気づかうことで、セックスを楽しむ気持ちを取り戻している人も多いようだ。

陽性者調査

ふだんの就労状況 N=1,202



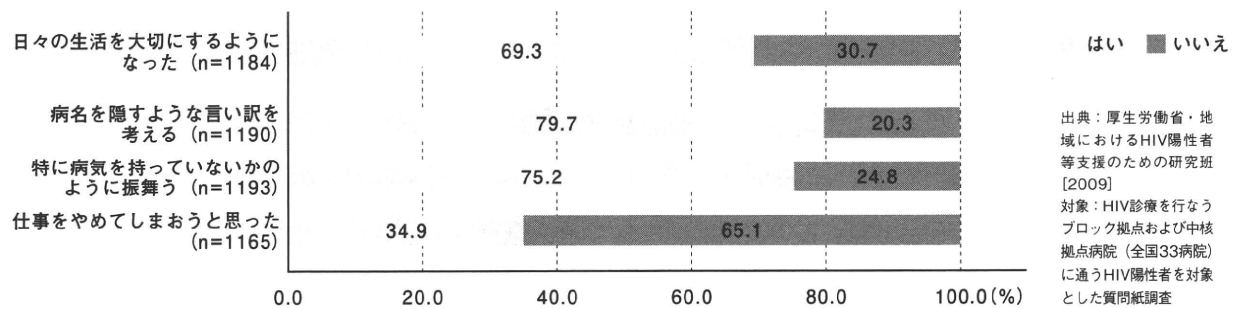
出典：厚生労働省・地域におけるHIV陽性者等支援のための研究班 [2009]
対象：HIV診療を行なうブロック拠点および中核拠点病院（全国33病院）に通うHIV陽性者を対象とした質問紙調査

「主に就労している」、「家事・通学・その他の事が主で就労している」が76.5%、「就労していない」が23.5%だった。HIVの感染がわかってからも、仕事や学校を続けている人たちが多かった。

自分の感染について職場や学校で話すことが義務ではないし、話さないことでそれを負担に思う必要もない。また信頼できる職場や学校の人に話して理解をしてもらい、自分の味方を少しずつつくる人もいる。ただ、生活の中で人と関わることに負担を感じることもまだまだ多いようだ。下の図では病名を隠すこと、病気をもっていないように振舞うなどの経験がある人が多く、また「仕事をやめてしまおうと思った」と回答している人も34.9%いた。

陽性者調査

HIV陽性が分かって以降、この数年の生活で、次のことを感じましたか



出典：厚生労働省・地域におけるHIV陽性者等支援のための研究班 [2009]
対象：HIV診療を行なうブロック拠点および中核拠点病院（全国33病院）に通うHIV陽性者を対象とした質問紙調査

コラム⑤

カミングアウトについて

ある日、とあるバーに行ったんだけど、お客が15人ぐらいいたかな、「あの子、やりまくってて、生でもやってみたい」「絶対HIVよ。信じられない！」っていう発言がマスターから出たんです。自分はプチってキレて、「その人がHIVかなんてわからない、決めつけですよ。お店の仕事って、お客さんを安心させたり楽しませること。このご時世でこれだけ陽性者がいることを知ってて、店の人が『信じられない』なんて言うってどうするの。もしもお客さんの中に陽性の人がいたらショックを受けてるよ」って言っちゃったんです。そしてマスターをカウンターのすみへ呼んで、耳元で言いました、「僕、HIVなんだ」って。

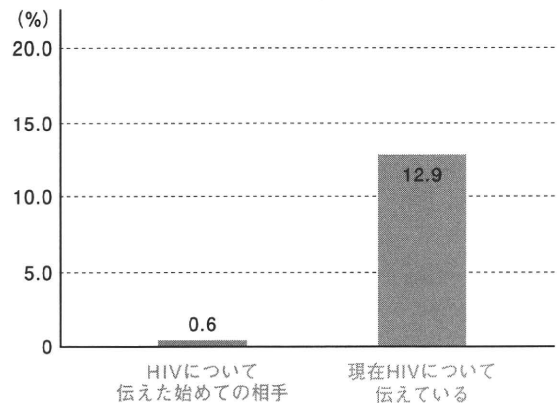
そこでピタって彼の会話が止まりましたよね。自分は30分ぐらいその場において、その日は帰って、その後は4、5回行きましたかね。でも、それ以来、彼はHIVのことは聞いてこないし、僕がいるあいだはそんな話題も出さない。アンタツチャブルになってしまって、それもまずいかな、と思ってるんだけど……。

それから仕事が忙しく、その店には最近ご無沙汰してるんですが、マスター、あれから何か考えてくれたかなあ……。

[K] の体験

陽性者調査

行きつけの飲み屋のマスター / ママにHIV陽性について伝えているか N=155

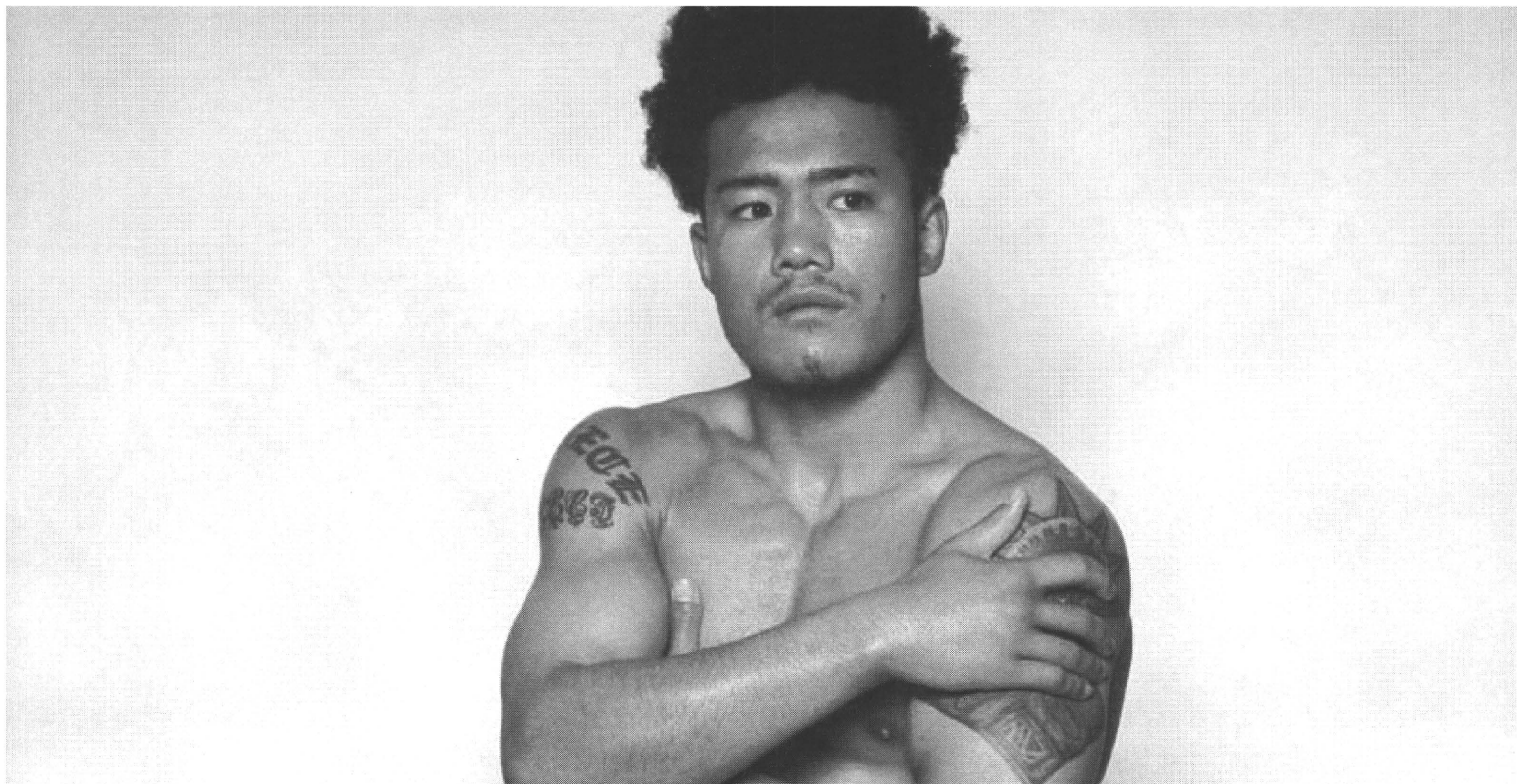


出典：厚生労働省・HIV感染予防対策の効果に関する研究 [2007]
対象：HIV陽性者向けサイトへアクセスしているHIV陽性者を対象とした質問紙調査

打ち明ける場所、とき、ひと

これまでにみてきたように、すでに感染がわかって生きている人はたくさんいる。また感染しているけれども、まだその事実を知らない人も多くいる。そうであるはずなのに、例えばゲイバーで、HIV陽性者がいないものとして扱われることに傷つき、そこから足が遠のいてしまう人がいる。その一方で、HIVに感染して最初に、バーのマスターにそのことを伝えている人もいる。

私たちが暮らしている街の様々な場所で、HIVに関することにふれる機会がある。それは必ずしもセックスにまつわる場面だけではない。友達のことだったり、元彼のことだったり、行きつけの場所のスタッフのことだったり、あるいは自分自身のことだったりする。自分たち一人ひとりにとって、本当はとても身近なことでもある。少しずつ、このことについて話し合えたらいいと思う。一人ひとりが自分のペースでできる一歩から、誰もが住みやすい街が広がっていくのではないだろうか。



「支援制度・カミングアウト」

陽性者を

サポートするもの

What about support services for people with HIV and AIDS?

A
answer

治療には高額な医療費がかかるけれど、いろいろな制度を活用することで、負担を自分の所得に応じて減らすことが可能だ。まずは、病院のソーシャルワーカーや専門の相談機関に相談してみよう。

Memo

HIVの相談ができる窓口は、たくさんある

HIVの感染がわかったとき、あるいは感染しているかもしれないと不安を感じる時、その先の生活について強く心配になることがあるかもしれない。「治療にかかる費用は?」、「日々の暮らしはどうなるの?」、「どこまでHIVに感染したことを伝えなきゃいけないの?」、など。

今あなたが直面していることはとても大切な問題で、何から取り組むのか整理をして、ひとつずつ解決していくことが大事だ。必要な場合は、信頼できる身近な人、医療機関のスタッフ、専門相談員、NGO・NPOや保健所などの相談機関に相談をしてみよう。相談することは大きな一歩だ。

Memo

HIVの治療にはどのくらいお金がかかる?

すべての人が感染がわかってすぐに服薬が必要になるわけではない。病気の進行の程度によっていつ開始するかを決めることになるのだが、HIVの薬の服薬を開始すると高額な医療費がかかる。

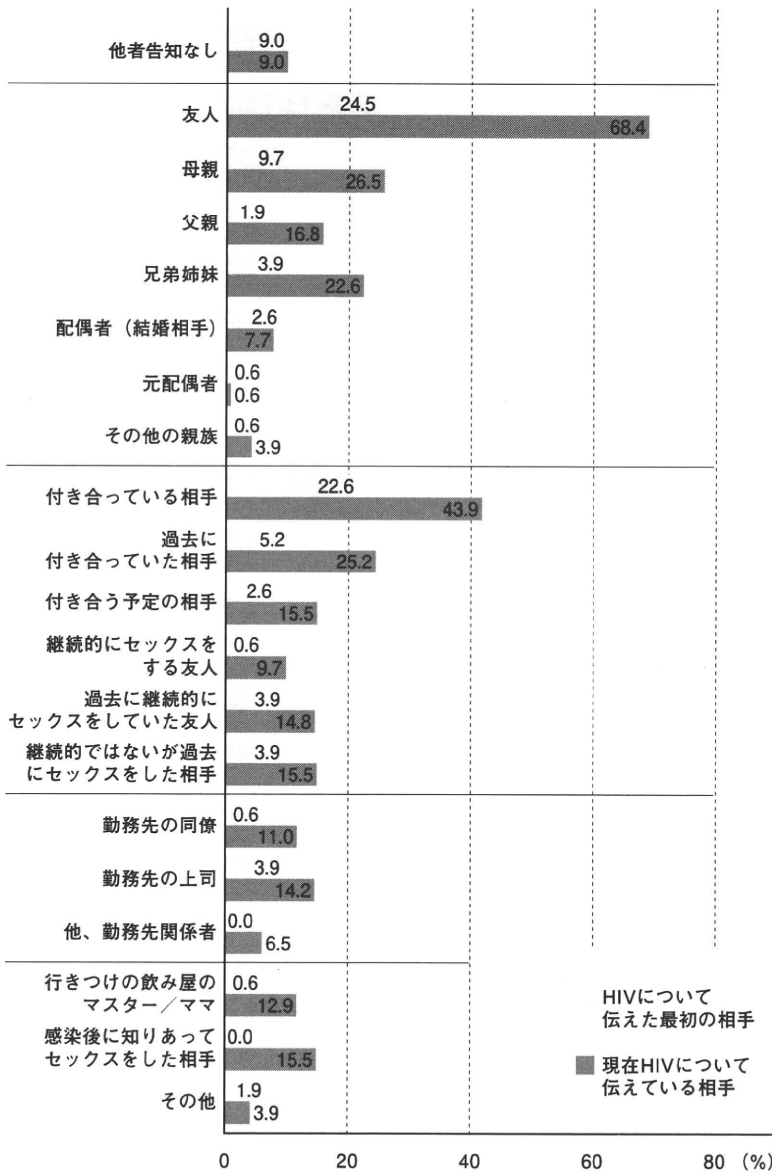
しかしHIV陽性者が利用できるいくつかの制度があり、それらを利用することで医療費の負担を軽減できる。例えば、1998年からは身体障がい者の認定を受けられるようになった。これは血液製剤で

HIVに感染した血友病の被害者が、国との交渉のなかで治療できる環境をつくってきた成果である。

また、自立支援医療、重度障がい者医療などの医療費助成制度を活用する場合、働いている人なら月々の自己負担金を1万~2万円に抑えることができる。ただし、これは所得により金額が変動する。手続きを知りたい場合には、病院のソーシャルワーカーや役所の身体障がい者手帳の担当部署で相談しよう。

陽性者調査

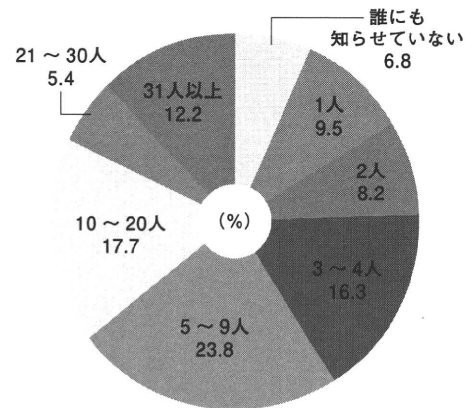
HIV陽性について誰に伝えたか N=155



出典：厚生労働省・HIV感染予防対策の効果に関する研究班 [2007]
 対象：HIV陽性者向けサイトへアクセスしているHIV陽性者を対象とした質問紙調査

陽性者調査

HIV陽性であることを周囲の何人に知らせているか N=147



出典：ぶれいす東京・日本HIV陽性者ネットワーク ジャンププラス「長期療養時代の治療を考える」[2009]
 対象：HIV陽性者向けサイトへアクセスしているHIV陽性者を対象とした質問紙調査

Memo

HIVのカミングアウトもいろいろ

陽性者一人ひとりのカミングアウトの考え方は様々だ。時間の経過によっても変化する。厳重に情報管理をする人がいる一方で、信頼できる人に知って欲しいと思い、伝える人もいる。セックスの関係者に限定せず、生活の中で出会う人に必要があれば知らせる人もいるようだ。

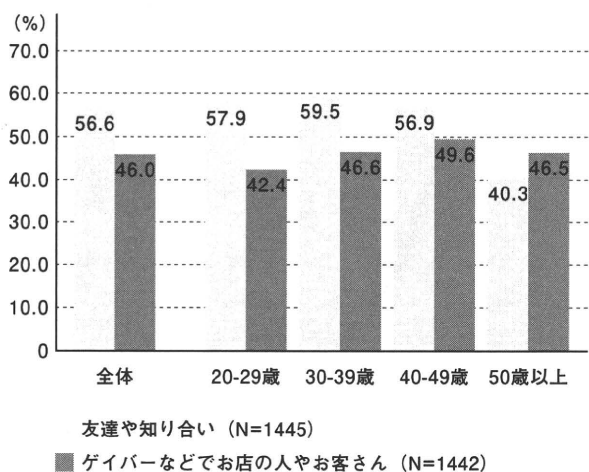
身近に相談できる人をもつことは、生活や治療を続けることにとって大きな力となる。しかし相手を受け止めきれず、人間関係を損なうケースもある。誰にどこまで伝えるかは、自分にとってサポートになるかどうかを考えて検討しよう。

コラム⑥

HIVのこと、ゲイ・バイは誰に相談している？

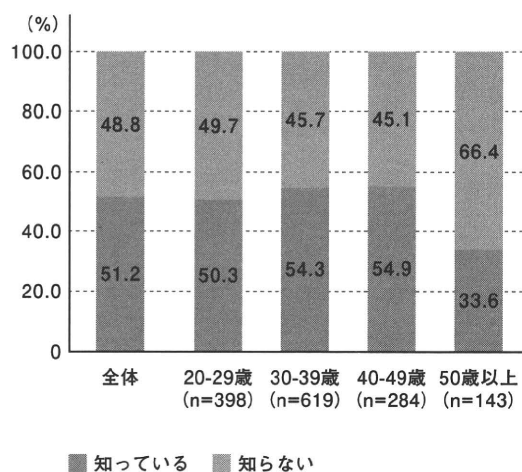
ゲイ・バイ調査

年齢別 過去6ヶ月に
HIVについて話題にした経験



ゲイ・バイ調査

HIVや健康について相談できる
場所や人を知っている N=1,444



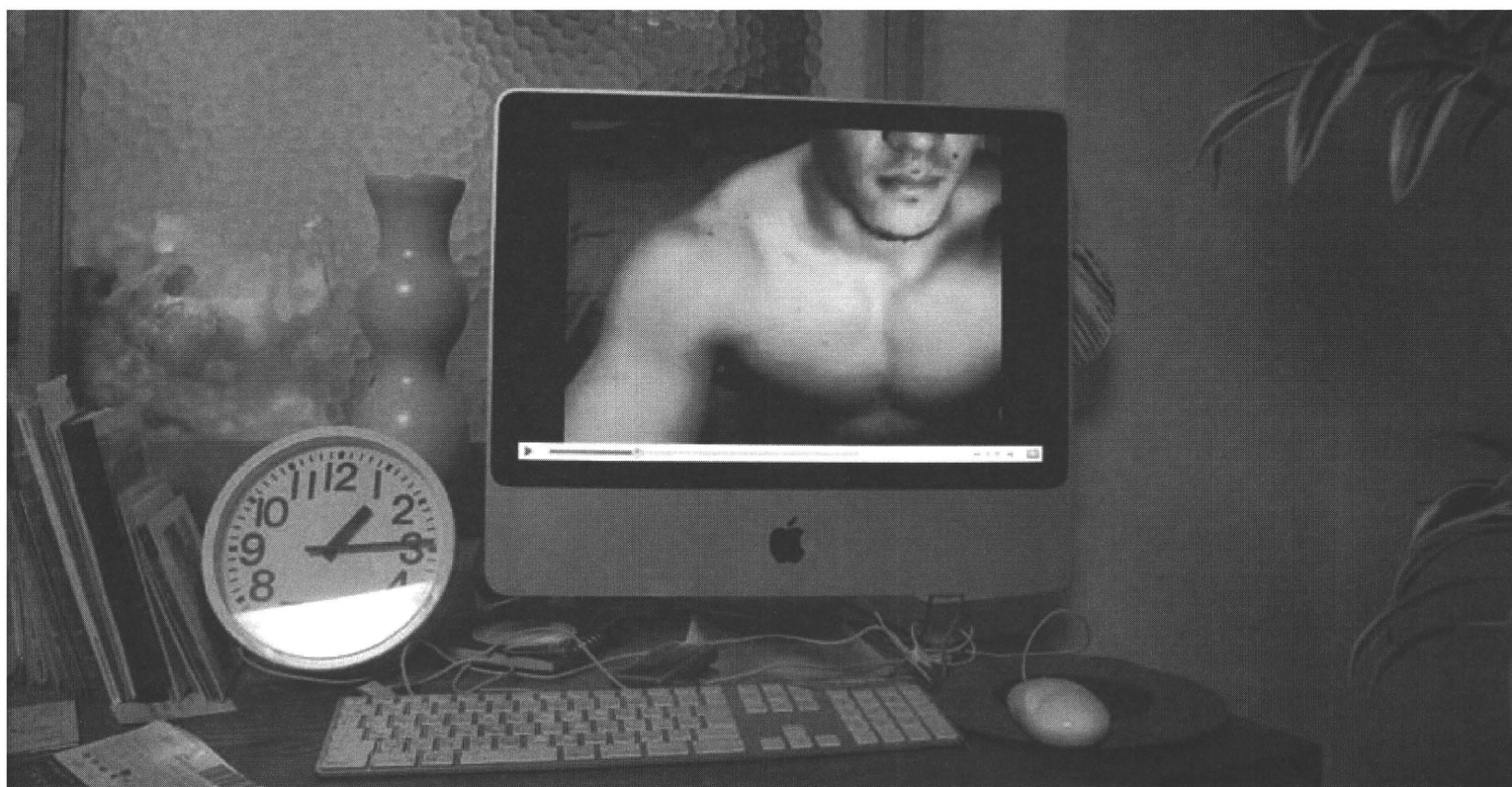
出典：厚生労働省・エイズ予防のための戦略研究 [2008]
対象：首都圏地域のゲイバー利用者を対象とした質問紙調査

これらのグラフはゲイバーの利用者に対して行った調査からみえてきたことだ。

左の図をみると、過去6ヶ月間にゲイバーでHIVのことについて話したことがある人は全体で46.0%だった。友達と話をしてきた人は56.6%だった。右の図では、HIVや健康について相談できる場所について聞いていて、全体では51.2%の人が知っていると答えている。どちらも50歳以上が他の年代に比べて低い傾

向にある。みなさんの実感と比べて、どうだろうか？

行きつけのゲイバーのママにカミングアウトをして、受け止めてもらえたことが大事な経験だったというHIV陽性者もいる。必要なときには専門の相談を使いつつ、バーのママやマスターだったり、身近な人のなかで安心してHIVのことを話せる人をさがして、話してみることも大事かもしれない。



「よくある質問」
相談の現場から

Commonly asked questions: From counseling services

A
answer

誰でも不安で精神的にまいってしまったり、問題を抱えることがある。そんなときに大切なのは、ひとりだけで抱え込まないこと。ここではHIVにかかわる相談で、よく聞かれるものを紹介する。

「HIVに感染しちゃったら、死んじゃうんでしょ！」

HIV/エイズの治療は大きく進歩している。検査で陽性という結果が出たとしても、長生きできるための薬や治療法が開発されている。感染しても、すぐに死ぬ病気ではもはやないと言える。

しかし、「HIVに感染すること＝死」という古いイメージによる不安から感染した可能性を無視していると、エイズを発症してしまうことがある。HIVに感染して放置しておく、身体の免疫力が徐々に下がる。

その結果エイズを発症し、肺炎や癌、脳症などのいろいろな病気を引き起こしてしまう。

多くは治療が可能だ。しかし、身体に障がいが残る場合もある。陽性とわかった場合、きちんと専門医に定期的に診てもらうこと。適切な時期に抗HIV薬を飲むことで、エイズ発症を防ぐことが可能だ。

感染していたとしても、早めにそのことに気づくことが、とても大切になっている。

「コンドームを使っても言われても、セックスのときの行動を変えられないし」

セーフターセックスの方法と聞くと、コンドームを思い浮かべる人が多いかもしれない。確かに、アナルセックス、フェラチオなどでは、コンドームを使うことによってHIV感染を防ぐことが可能で、これが最も確実な方法だ。また、他の病気で感染経路が同じである、B型肝炎、C型肝炎なども予防することができる。C型肝炎は、セックスで感染したという事例報告が、複数の専門医療機関から出されている。

コンドームを使うことがどうしても難しいというときは、感染の可能性を減らすための方法を考えてみてはどうだろう。「ハームリダクション」、害（ハーム）を減らす（リダクション）という考え方がある。コン

ドームを使用できないときに感染の可能性をより低くするには、口のなかの粘膜、肛門の内側の粘膜と精液との接触を少なくすることが有効だ。たとえば、射精は身体の外でもらう、粘膜のコンディションが悪いときにはその部位に関連した行為は避ける、などの方法がある。

しかし、最も確実なのはコンドームだ。コンドームにも新商品がぞくぞくと発売されていて、「意外といい！」という声も多く聞く。まずは楽しみながら試してはどうだろう。それと「痛い～」という人には、水性のローションがおすすめ。また、コンドームを痛めないシリコンオイルもあるようだ。



「HIVに感染したって、別に自分はどうなったっていい」

自分はどうなってもいいという気持ちは理解できる。しかし、HIVは人から人へ感染していく病気という側面をもっている。あなたが無視することによる、自分でも気づかない間に誰かに病気を渡す可能性はゼロではない。定期的な自分の状態のチェックと予防をすることで、誰かに渡してしまう事を避けることができる。

また気分が落ち込んだときには、自分を壊したい、傷つけたいという気持ちになってしまうことがあるか

もしれない。そんな時は気分が回復した時に自分がどう感じるのかを想像してみよう。いつもとは違う、例外の行動をしてしまったことが感染の原因だった、と話す陽性者もいる。感染しても人生は終わりではない。しかし一瞬の感情で、健康状態、生活パターン、ストレス負荷が変わってしまうのもまた事実だ。相談サービスなどを利用して、傾向と対策を考えてみてはどうだろう。

「電話相談って、安心して使えるの？」

相談サービスは名前を出さずに利用できる。不安になるということは、HIVをとても身近に感じた時ともいえる。不安な気持ちを自分のなかに閉じ込めると、どうしても想像は悪い方向に向かうことが多いようだ。相談を利用することで、不安を解消しつつ、同時に情報を増やしながら自分がどの方向に向けば一番メリットが大きいかを考えることができる。内容としては、以下のような内容の相談が電話相談の現場に寄せられている。

①これまでの行動を振り返って、過去の感染の可能性を考える ②今後の生活のなかでの、セックスの満足度と予防のやり方の調整 ③自分や周囲の人の感染がわかった時など

もし、あなたが普段は人に弱みを見せるのが苦手だとしても、必要なときは一度、電話相談を試してみてもどうだろう。自分の問題を解決するためのパターンを増やせるかもしれない。

もっと知りたい人のために

この本で紹介しきれなかったHIVについてのパンフレットやwebサイトを紹介します。
これらの冊子はakta（新宿）やSHIP（横浜）など、コミュニティセンターで手に入れることができます。
また多くのものはwebサイトHIVマップからご覧になることができます。

HIVの基本的なことを 知りたい

FACE TO REAL

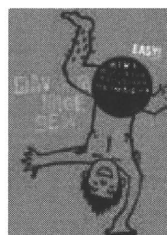


「AIDS=死じゃない」「恋人ともセーファー?」「バリタチ≠安全」「ひとりで抱え込まないで」「やっぱり『NOドラッグ』」など、ゲイ・バイに知っておいてほしいHIV/エイズの情報を、わかりやすいテキストとイラストで紹介している。



セーファーセックスの ことを知りたい

HAVE A NICE SEX!



HIV感染のメカニズムをわかりやすく解説している。HIV陽性/陰性にかかわらず役に立ち、自分なりのセーファーセックスができるための情報が掲載されている。(制作：厚生労働省・男性同性間のHIV感染対策とその介入効果に関する研究班)

HIV陽性がわかった後の 情報が欲しい

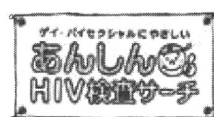
たんぼぼ



HIV陽性告知を受けたばかりの人に役立つように編集された冊子。医学的な基礎知識、福祉制度、社会生活、プライバシー、セックスについてなど幅広く取り上げられている。また、さまざまなHIV陽性者の手記も掲載されている。(制作協力：ぶれいす東京／編集・発行・収録：東京都福祉保健局)

HIV検査のことを 知りたい

あんしんHIV検査サーチ



ゲイ・バイが安心してHIV検査を受けられる、首都圏エリアの検査場の情報（場所・日時・検査の種類・ゲイ・バイへのメッセージなど）を紹介している。HIV検査の基本的な情報についても紹介している。HIVマップよりアクセスできる。

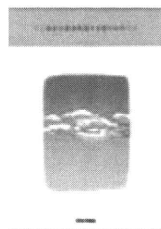
いろいろな依存の問題を知りたい

This is hope



薬物、アルコール、セックスなどの依存症とHIVについて、セクシュアルマイノリティを対象に作られた冊子。さまざまな依存症当事者の手記、わかりやすい解説や相談窓口の案内が掲載されている。

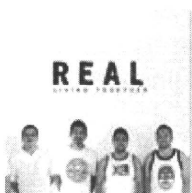
家族読本（ご家族の薬物問題でお困りの方へ）



薬物依存症についてのわかりやすい解説、家族のすべきこと/すべきでないことが整理されている。事例紹介や、Q&Aなどが豊富。全国の支援団体（精神保健福祉センター、家族会、ダルク）のリストも掲載。（発行：厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課）

いろいろなHIV陽性者の手記を読みたい

REAL Living Together



世代や背景の異なる5人のHIV陽性者の手記と、ゲイ・バイをめぐるHIVの現実を切り取ったコラム、街と暮らしをイメージした写真などで構成されている。

webサイトでもHIVの情報を手に入れたい

HIVの総合情報サイト

HIVマップ



ゲイ・バイをはじめ、全ての人にすぐ役立つ予防・検査・相談・支援の窓口や基礎知識などを掲載している。

HIVマップ
(PC・mobile共通)

<http://www.hiv-map.net/>

あとがき

エイズ予防のための戦略研究 研究リーダー
市川誠一

HIV感染者、エイズ患者共に、日本では男性同性間の性的接触による感染が大半を占め、それぞれの報告数は増加が続いています。エイズ予防のための戦略研究では、首都圏、阪神圏のこうした現状を改善するために、ゲイ・バイセクシュアル男性が利用する商業施設、雑誌・Web等のメディア、スポーツや音楽などのサークルなど多くの方々の協力をいただいて、HIV/エイズに関する啓発普及を2006年より展開してきました。1985年に日本で初めてのエイズ患者として男性同性間の感染が取り上げられて以来、男性同性間のHIV感染対策を重点課題として5年間にわたる啓発を中心とした大型予算での取り組みは初めてのことです。

こうした啓発普及を今後の取り組みに生かすためには、啓発資材やプログラムがどの程度認知されているのか、またHIV検査の受検状況や予防行動の状況に変化が現れているのか、そして啓発普及を届けることができなかった層はあるのかなど、現状を把握していくことが大切です。そのために戦略研究では、「ちょっと面倒だけど、大切なこと」として、複数のアンケート調査を「MEN-Doキャンペーン」というかたち

で行ってきました。この調査結果は、HIV感染対策として必要なことを行政に提案するうえでも役に立つものです。そして何よりも、ゲイコミュニティにおけるセクシュアル・ヘルス情報として、将来的にも有用なものになると考えます。

調査の質問紙の内容や調査方法については、戦略研究に関わっているNGO、NPOのゲイ・バイセクシュアルのメンバーと検討して実施してきました。また、この本でも紹介したゲイバーの利用者を対象としたアンケートでは、バーのマスター、ママさんから回答を依頼してもらったりと、多くの方々の協力をいただいて「MEN-Doキャンペーン」は行われています。

2010年度で戦略研究は終了しますが、ゲイコミュニティでのHIV感染への取り組みはこれからです。NGOやNPOの啓発活動の促進を支援し、コミュニティの様々な方々とのネットワークを拡げ、一人ひとりの健康（HIVに感染していても、いなくても）を大切にしていくコミュニティを形成するアプローチが今後必要と考えます。そのためにも、コミュニティの皆さんにこの本を手にとっていただければ幸いです。